

令和6年度 いずみ市民大学 教養学部 [後期]

1 判例・事例から学ぶ法知識(2024年秋)



講師・コーディネーター **永水 裕子**
ながみす ゆうこ
 桃山学院大学 法学部教授

上智大学法学研究科博士後期課程単位取得満期退学。専門は民法および医事法で、『はじめての医事法(第2版)』(共著)、『インフォームド・コンセントと医事法』(共著)、『生殖医療と医事法』(共著)、『小児医療と医事法』(共著)、『いのち、裁判と法』(共著)などがある。

最近話題となった裁判例や事例を紹介しながら法律について学ぶ「判例・事例から学ぶ法知識」を秋学期に開催します。どんどん巧妙になる悪質商法、ペットに関する法律や事例、性的少数者をめぐる法律問題、認知症になったときの財産管理、死んだ後の法律問題など、時事問題を紹介しながら法律について解説をします。

講座回数	受講料	定員	曜日	時間	場所
全8回	4,400円 (8回分一括)	50名	水曜日	13:00~ 14:30	地下1階 多目的室

日程	講義テーマ	講師
1 11月6日(水)	悪質商法から身を守る	桃山学院大学 法学部教授 田中 志津子
2 11月13日(水)	旧優生保護法の問題：最高裁判決を受けて	永水 裕子
3 11月27日(水)	LGBTQをめぐる法律問題	永水 裕子
4 12月4日(水)	生成AIと著作権法	行政書士 岡嶋 和彦
5 12月11日(水)	株の仕組みとその役割	桃山学院大学 法学部准教授 小西 みも恵
6 12月25日(水)	死後事務委任契約、身寄りのいない人の死後準備	司法書士 小山 哲史
7 1月15日(水)	動物をめぐる法と裁判	桃山学院大学 法学部講師 鈴木 康文
8 2月5日(水)	成年後見制度の改正に向けた議論	小山 哲史

4 日中同時代の人物比較



講師・コーディネーター **松田 吉郎**
まつだ よしろう

1950年生。大阪市立大学大学院修士課程修了。文学修士。須磨学園高等学校教諭(1979~2016年)。現、アジア探訪研究所所長。中国史専攻。



講師 **後藤 芳春**
ごとう よしはる

1954年生。大阪市立大学大学院修士課程修了。文学修士。須磨学園高等学校教諭(1979~2016年)。現、アジア探訪研究所所員。日本古代史専攻。

古代中国・日本・朝鮮における同時代の人物比較を行ってアジアの時代相を読みみたい。各人物の事績、性格、時代背景を考察して古代アジア像を立体的にとらえ、日本は中国・朝鮮文化のものまねだけだったのか? いや、日本の独自性があったのかを明らかにしたい。

満席

講座回数	受講料	定員	曜日	時間	場所
全10回	5,500円 (10回分一括)	50名	月曜日	13:30~ 15:00	地下1階 多目的室

日程	講義テーマ	講師
1 11月11日(月)	魏の曹操・曹丕、司馬懿仲達	松田 吉郎
2 11月25日(月)	邪馬台国の卑弥呼	後藤 芳春
3 12月9日(月)	南朝宋の劉裕、順帝	松田 吉郎
4 12月23日(月)	仁徳天皇・雄略天皇、高句麗の長寿王	後藤 芳春
5 1月6日(月)	隋の煬帝	松田 吉郎
6 1月27日(月)	厩戸皇子	後藤 芳春
7 2月10日(月)	唐の則天武后	松田 吉郎
8 2月17日(月)	持統天皇、新羅の善徳女王、真徳女王	後藤 芳春
9 3月10日(月)	唐の玄宗、楊貴妃	松田 吉郎
10 3月24日(月)	聖武天皇、光明皇后	後藤 芳春

2 『源氏物語』五十四帖を読む11



講師・コーディネーター **梅山 秀幸**
うめやま ひでゆき
 桃山学院大学 名誉教授

京都大学大学院博士課程修了。現在は桃山学院大学名誉教授。著書に『かぐや姫の光と影―物語のはじめに隠されたこと―』、『後宮の物語』。訳書に『於于野譚』、『太平閑話滑稽伝』、『懶斎叢話』、『漢西野譚』、『朝鮮宮廷女流小説集 集(八)のものごとり』など。

この講座は2019年度より始め、「桐壺」から「若菜(上)」までは読みすすめた。2024年度の後期は「若菜(下)」から「横笛」までを読む。

※進み具合により内容は変更する場合があります。

講座回数	受講料	定員	曜日	時間	場所
全10回	5,500円 (10回分一括)	50名	月曜日	10:30~ 12:00	3階 学習室4

日程	講義テーマ
1 11月11日(月)	「若菜(下)」を読む(1)
2 11月18日(月)	「若菜(下)」を読む(2)
3 12月2日(月)	「若菜(下)」を読む(3)
4 12月16日(月)	「若菜(下)」を読む(4)
5 1月6日(月)	「柏木」を読む(1)
6 1月20日(月)	「柏木」を読む(2)
7 2月3日(月)	「柏木」を読む(3)
8 2月17日(月)	「横笛」を読む(1)
9 3月3日(月)	「横笛」を読む(2)
10 3月17日(月)	「横笛」を読む(3)

5 しんかい6500の世界 —地球について考える—



講師・コーディネーター **前川 寛和**
まえかわ ひろかず

1983年3月東京大学大学院修士課程修了(理学博士)、神戸大学大学院修士課程修了(文学博士)。神戸大学大学院理学系研究科助教授を経て大阪府立大学大学院理学系研究科助教授。研究科長・副学長等を歴任。2018年3月定年退職。専門は岩石学、地質学。

地球の表面は厚さ100km程度の十数枚のプレートと呼ばれる硬い板で覆われており、それらが相互に動いて地震や火山噴火など様々な地殻変動を引き起こしています。本講座では、プレート運動の主要な舞台である海洋底で起こっている地学現象について、有人潜水船「しんかい6500」による海洋底調査のビデオ映像等を交えて、わかりやすく紹介します。

満席

講座回数	受講料	定員	曜日	時間	場所
全12回	6,600円 (12回分一括)	50名	火曜日	10:30~ 12:00	地下1階 多目的室

日程	講義テーマ
1 11月5日(火)	しんかい6500の世界
2 11月12日(火)	ここはどこ?—宇宙の誕生から地球の成立まで—
3 11月19日(火)	宝石で包まれた地球—地球をつくる元素と鉱物—
4 12月3日(火)	大地の動きをはかる—プレートの運動—
5 12月17日(火)	地球システムを支配する海の底の巨大山脈
6 1月7日(火)	何度もいれかわった地球の北と南
7 1月14日(火)	プレートの沈み込む所
8 1月21日(火)	不思議な岩石の営み
9 2月4日(火)	プレートテクトニクス理論黎明期の研究者たち
10 2月18日(火)	自然災害と防災を考える
11 3月4日(火)	地球環境の変遷
12 3月18日(火)	研究の風景—三内丸山遺跡—

3 ピアノ名曲探訪~生演奏でつづる



講師・コーディネーター **宮崎 剛**
みやざき たけし

武蔵野音楽大学卒業。武蔵野音楽大学大学院修了。各地のコンクールで多数入賞。毎年リサイタルを開催。また、内外のオーケストラと多数協演、国内外の公演やNHK-FM「名曲リサイタル」出演まで活発な演奏活動を誇る。大阪音楽大学及び同付属音楽院、府立岸和田高等学校や宝塚音楽学校などで講師を歴任。岸和田健老大学客員教授、大阪府芸術劇場奨励新人賞、和泉市文化功労賞受賞。日本演奏連盟所属。和泉市合唱連盟理事長。

「楽器の王様」といわれる「ピアノ」、いわゆる「名曲」も数多くあります。この講座では、講師の生演奏によって、その数々をお聴きいただくとともに、その作品、作曲家にまつわるエピソードを、講師の楽しいトークで紹介いたします。第6弾の開講となる今期は、万博開催直前にちなみ、国ごとに様々なピアノ作品をご紹介します。

講座回数	受講料	定員	曜日	時間	場所
全10回	5,500円 (10回分一括)	50名	木曜日	9:45~ 11:15	3階 レセプションホール

日程	講義テーマ
1 11月14日(木)	ドイツ① ~バッハ、ベートーヴェン~
2 12月12日(木)	オーストリア ~モーツァルト、シューベルト~
3 12月26日(木)	ポーランド ~ショパン~
4 1月16日(木)	ハンガリー ~リスト、バルトーク~
5 1月23日(木)	北欧 ~グリーグ、シベリウス~
6 1月30日(木)	南北アメリカ ~ガーシュウィン、ピアソラ~
7 2月20日(木)	フランス ~ドビュッシー、ラヴェル~
8 2月27日(木)	ドイツ② ~ブラームス、シューマン~
9 3月13日(木)	イタリア、イギリス、スペイン ~プッチーニ、エルガー~
10 3月27日(木)	ロシア、そして日本 ~ラフマニノフ、平井康三郎~

6 日本近現代文芸の魅力への誘い



講師・コーディネーター **細川 正義**
ほそかわ まさよし

関西学院大学卒業。2017年、関西学院大学文学部教授定年退職。専門：日本近現代文芸、日本キリスト教文芸。現在：日本キリスト教文学会副会長・関西支部長、島崎藤村学会会長 他

近現代を代表する日本文学を取り上げ、作家たちが真剣に捉えた日本人としての生き方、考え方に触れて、「一冊の本」を読む喜びと意義を探ります。夏目漱石が「三四郎」を発表したのが1908年、100年以上経過しても今も新鮮な読書の魅力を与える(文学の力)に、漱石から宮本輝まで10人の作家を通して触れてみたいと思います。

満席

講座回数	受講料	定員	曜日	時間	場所
全10回	5,500円 (10回分一括)	50名	木曜日	14:00~ 15:30	地下1階 多目的室

日程	講義テーマ
1 11月21日(木)	夏目漱石文芸の魅力—「三四郎」・日本の「青春」と「迷羊」の行方
2 12月12日(木)	芥川龍之介文芸の魅力—「地獄変」の絵師良秀の死の意味
3 12月19日(木)	太宰治文芸の魅力—「ヴィヨンの妻」「眉山」における「笑い」
4 1月16日(木)	松本清張文芸の魅力—「ゼロの焦点」「砂の器」に見る戦後社会と(人間)
5 1月30日(木)	三浦綾子文芸の魅力—「千利休とその妻たち」「細川ガラシャ夫人」における(愛)と(真)
6 2月13日(木)	司馬遼太郎文芸の魅力—「菜の花の沖」・高田屋嘉兵衛の人間像
7 2月27日(木)	遠藤周作文芸の魅力—「沈黙」・「弱者の論理」を越えて
8 3月6日(木)	田辺聖子文芸の魅力—「感傷旅行」「ジョゼと虎と魚たち」に見る(愛)のかたち
9 3月13日(木)	有吉佐和子文芸の魅力—「地唄」「恍惚の人」に見る(先見性)
10 3月27日(木)	宮本輝文芸の魅力—「泥の河」「優駿」に描かれた(父)と(子)

※講座開講中の室内の温度管理には十分注意いたしますが、念のため衣服などで調整できるよう各自でご準備をお願いいたします。

往復はがきでお申し込みください。

【締切】
9/30(月)
必着

対象 和泉市在住・在勤を問わず、どなたでもお申し込みいただけます。

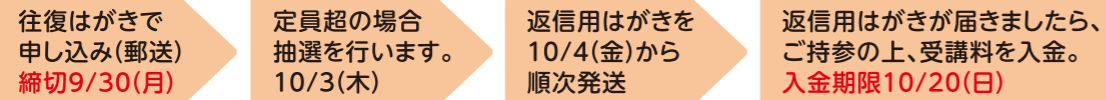
申込方法 往復はがきに必要事項を記入の上、郵送にてお申し込みください。
窓口や電話でのお申し込みはできません。

※往復はがき1通につき、1講座の申し込みとなります。
複数講座を申し込みの場合は、講座数分の往復はがきが必要です。
※1通での複数講座や複数人数分の申し込みは無効となります。
※往復はがき以外での申し込みは無効となります。
※生涯学習センター窓口に、はがきをお持ちいただいても受付できません。
※定員に達していない講座は10月4日(金)以降、窓口で受付いたします。

定員 各講座50名【定員を超えた場合は抽選】

※定員を超えた場合は、抽選を行い、補欠順位も抽選にて決定いたします。
10月3日(木)14時より和泉シティプラザ地下1階多目的室にて公開抽選会を行います。
※申込者が10名に満たない講座は不開講となります。
※申込多数の場合は講師と協議の上、可能な限り受講者を受け入れます。

申込手順



※一旦納入された受講料は原則として講座中止の場合のほかは返金できませんのでご了承ください。
※講座申込後のキャンセルは各講座開講日の1週間前までとさせていただきます。
※10月20日(日)までにご入金いただけない場合はキャンセルとさせていただきます。

往復はがきの書き方(見本)

往信(おもて)	返信用(うら)	返信用(おもて)	往信(うら)
<input type="checkbox"/> 往 5940041 和泉市いぶき野 生涯学習センター 宛	※何も記入しないで ください	<input type="checkbox"/> 返 氏名 住所 申し込みされる方の	1.希望講座名 ※はがき1通につき1講座 2.住所 3.氏名(ふりがな) 4.生年月日 5.電話番号

※消せるボールペンは使用しないでください。
※手作りのはがきではお申し込みできません。

講座に関する最新情報は、和泉シティプラザホームページをご確認ください。
<http://www.izumicityplaza.or.jp>

受講カードについて 『いずみ市民大学』の受講生の方には【ココロトリコイズミ生涯学習カード】を発行しております。

特典 ☆生涯学習センター主催の催物チケット優先販売(おひとり様2枚まで)
一般発売日の3日前より販売(但し、催物によっては適用のない場合もあります)
☆和泉シティプラザ1階カフェとエコールいずみ協賛店舗での割引

ポイント加算 講義1回につき1ポイント(出席回数にかかわらず講義回数分を加算)

有効期限 1年間(受講更新により、随時有効期限は延長されます)

※カードを紛失された場合は、再発行手数料100円が必要となります。



和泉シティプラザ
生涯学習センター
(受付時間 9:00~22:00)

0725-57-6661

〒594-0041 和泉市いぶき野五丁目4番7号
泉北高速鉄道「和泉中央駅」より徒歩3分
駐車場230台 ※2時間まで無料。以降30分までごとに100円。
ご来場の際には、なるべく電車・バスなどをご利用ください。



この冊子は、3,000部印刷し、印刷単価は1部約18円です。

令和6年度

いずみ市民大学

教養学部 [後期]

各講座50名
受講生募集!

- 判例・事例から学ぶ法知識
- 『源氏物語』五十四帖を読む11
- ピアノ名曲探訪
- 日中同時代の人物比較
- しんかい6500の世界
- 日本近現代文芸の魅力への誘い

締切

往復はがき 9/30 (月) 必着

市民の学習意欲の醸成、活力ある地域社会の実現とまちづくり活動を担う人材の育成を目的として『いずみ市民大学』を設置。
学んだことを地域で生かす「まちづくり学部」と、自らの知識を広げる「教養学部」を併設しています。



※いずみ市民大学は学校教育法上の大学ではありません。市が行う生涯学習推進事業の名称です。